

小学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
1	1	生活	みんなの にこにこ 大作戦	<p>～みんながにこにこするのはどんなとき？～ 家の仕事について家族で分担する、自分でもできる仕事を見つけ、とりくむ。 男女関係なく、家族の一員として自分に任せられたしごとをやって、みんなでにこにこできるようによう、という取り組み。</p> <p>○教科や学校生活問わず、グループ作りは男子○人、女子○人と決めていない。 男女の差を意識しないようなグループ作りをしている。</p>
2	1	生活	大きくなったら	<p>・「大きくなったら、何になりたいか」「どんな仕事をしたいか」出し合った。どうしてなの か理由も付けて話していった。 「おいしいものを作ってお客さんを喜ばせたい」…寿司屋・ケーキ屋・パン屋 「みんなを守る」…消防士、警察官 「みんなを楽しませる・幸せにする」…芸能人 自分の仕事によって人を幸せにしたいという思いが多く話された。</p> <p>・ジェンダーフリーの絵本③「働くってたのしい」大月書店 の読み聞かせをしながら、男 女にとられることなく誰でもどんな仕事でもできることを話していった。 男だから女だからできない仕事という発想はなかったようで、女のパイロットなども「い いな、カッコいい」などとすんなり受け入れていくことができた。</p> <p>・「どの子もやりたいことを見つけられるといいね、夢がかなうといいね」など話し合いを まとめていき、どの子もにこにこ嬉しそうだった。</p>
3	1 2	生活	大きくなったら	<p>将来の夢を語ってもらった後、「仕事アンケート」、を行ったが、やはり男の仕事・女の 仕事と無意識のうちに区別していることがわかりました。 ただ、自分の家族がやっている仕事については、くわしく知っていたようでみんなに話 して教える場面があった。（「私のお母さんがやっているから、○○の仕事は女の人で もできます。」など）働いている人と関わりの少ない低学年では、偏りも強く出るような気 がした。 最後に、どの仕事も男女ともにできることを写真を見せながら伝えると驚き、「どんな 仕事でも、やろうとすればできるんだ。」と感心している姿が見られました。</p>
4	1 2	図工	好きな色を ぬってみよう	<p>図工で「好きな色をぬっていいよ」と投げかけたときに、女子は抵抗なく好きな色を自 由に選ぶことができたが、男子の中で、「ピンクは女の色だからなあ」「やっぱり男は 青とか緑とかを選ぶよな」などといったつぶやきが聞こえた。本当は赤やオレンジが好 きなことは普段の生活の中で分かっていたが、集団の学びの中では、やや自分の気持 ちを抑えた発言や行動が見られるときがある。基礎となる学び作りの雰囲気が大切だ と感じている。 教科指導、学級経営を含めて男女の差なく自由に堂々と自分の意志を貫き通すこと の大切さを指導していきたい。</p>
5	1 2	家庭 学習	お手伝い	<p>・毎日の家庭学習で1年を通じて「お手伝い」をやっている。くつならべ、しょっきあらい、 ふるそうじ、かたたたき、せんたくたみ、りょうり、いもうとのせわなど家族の一員とし てできることをやるという習慣を低学年から身につけさせたいと思いつけている。</p>
6	2	学活	何色がすき？	<p>目標：色の学習を通して、固定的な考え方にとられず、自分が身につけたいもの、自 分が好きだと思うものに気づくことができるようにする。色によって男女の区別を表すと いう固定観念による男女分けをやめる。 授業：①好きな色は何？ ②男の子が赤いランドセルを背負ったら、女の子が黒いランドセルを背負ったら …どう思う？ ③自分が持ちたい色でカバンをぬろう。 子どもの表れ ・みんな男の子も女の子も、いっしょに生きていて、女の子だから何、男の子だから何と いうのではないと、はじめて知りました。 ・男の子の色、女の子の色なんでないから、いろいろつかおうと思った。 ・やっぱり、「～をしなきゃダメ。」ということじゃなくて、自分しだいでもいいんだな、と思 いました。</p>

小学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
7	3	図工	自分を太陽にしよう	<p>図工で自分の顔を中心にしてバックを太陽に絵の具でぬろうという活動をした。太陽だからと多くの子が暖色系を選ぶ中、1人の男の子が「青にしちゃダメ」というので理由を聞くと、「男の子っばいから」と言ったので、全体で、「他にもそうしたい人？」と聞くと何人かがあがってきた。そこで、男の子らしい色、女の子らしい色について聞き分けてみた。その中で、「でも私は青が好き」という女の子や「今日の服は赤だ」という男の子が出てきた。「らしい色」というのは、みんなの思いではなく、自分のイメージであることについて話をした。</p> <p>ランドセルの色やトイレの表示など男女で分かれているものもあるが、そのイメージで自分の絵が左右されないようにと話した。その後太陽ということ意識した絵を描くことができた。</p>
8	3	学活	ぼくのからだわたしのからだ	<ul style="list-style-type: none"> ・男の子と女の子はどこが違うのかを考えさせ、服装・髪型・遊びなどの違いからは判断できないことに気づかせた。 ・養護教諭から男女の体の違いの話を聞き、男女でぶつかることもある3年生が互いの違いを理解して、相手を大事に思う気持ちをもつきっかけにした。
9	3	学活	いろいろな仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・「新・ももたろう」の話(男女を逆にした話)を聞かせ、感想を出させた。「本当の話と違う」「桃子が鬼退治に行くのはすごい」「おじいさんが腰がいたいからおばあさんは山へ芝刈りに行ったのかな」等の意見が出たので、担任の家庭の様子なども話、男だから女だからに関係なく、自分ができるところをやって、家族が助け合うことが大切であることにつなげた。 ・いくつかの職業をあげ、「男の仕事だ」と思うか「女の仕事だ」と思うか」黒板に分類していった。「両方だよ」という声もあったので、カテゴリーをふやした。反対の場合をしている児童に発表させたり、その写真を見せたりして、どんな仕事も男女関係なくできることがわかった。
10	3	学活	席替えをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・席替えをどのように行うのか相談した。 ・男女が同じになるように分ける等の意見が出されたが、男女のバランスは関係ないという意見も出た。その結果、男女関係なく自分の行きたい場所になるように席替えをした。男だけの班、女だけの班、男女がまざった班ができたが、問題なく生活している。 ・その後、体育や総合のグループ分けも、男女という意識はなく、それぞれの状況に応じた観点で分けることができた。
11	3 4	話	仕事のイメージ	<p>給食中、将来の夢についての話題があがった。その中で、最近沢選手をはじめとする日本代表女子サッカーの話になった。「女子のプロ野球チームはあるの？」という言葉から職業に目を向けて子どものイメージを聞いてみた。消防士→男性のイメージ、キャビンアテンダント(CA)→女性のイメージなどを話している中で、ドラマ「東京エアポート」で男性のCAさんがいるという話になった。現在は男性・女性のイメージにとらわれず同じように働いているんだねとまとめをし、給食時間を終えた。</p>
12	4	国語	調べて発表しよう だれもがかかり合えるように	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「手と心で読む」を読んでもっと知りたいことや確かめたいことを決める。 <ul style="list-style-type: none"> * 点字の使われている場所 * 点字の歴史 * 失明した人がどんな生活をしているか * 盲学校はどんな勉強をしているか * 点字の打ち方、読み方について ・課題を解決するために、調べ学習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> * インターネットや本で調べるだけでなく、家の中駅などの身近なところで点字が使われていることを実際に見てきた子もいた。 ・調べたことをまとめ、新聞を作る。

小学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
13	4	保健 学活	大きくなって きた私 思春期に あられる 変化 男女の協力	これまでの成長の様子とこれからの成長について学習した。これからの成長は男女で差が生まれるほか、成長には個人差があることなどを学習した。 その後の学活の授業では、これまでは特に男女の違いについて大きな差を感じずに成長してきたが、これからは、生物としてそれぞれの役割に応じて体が変化していくことを知り、男女がお互いにどんなことを協力し合いながら生活していけば、よりよいクラス・学年を作っていけるかを考えさせた。お互いの違いを理解していくことや、得意分野で活躍し、苦手なことは励まし合って乗り越え、協力していくことが大切であること、また、成長時は個人差があるから、冷やかしかからかいをすることなく見守ることや励ますことも大切であることなどがだされた。 授業後行われた音楽会や8の字大会では、練習で優しい声かけや励まし合う姿がたくさんみられ、その効果が当日にも表れていた。
14	5	社会	これからの工 業 働く人にやさ しい仕事場	「働く人にやさしい仕事場」とは、どういうものか考え合った。障害のある人、女性、高齢者、だれでも働ける仕事場であると気づいた。その中で、女性にとって「同じ賃金にしなければならぬ(男女均等法)」「男性も育児ができる(育児介護休業法)」と法律が整備されていった過程があることを学習していった。
15	5	家庭	見つめてみよ う 家族の生活	一日の生活を振り返り、いつ・だれが・どんな仕事をしているかを記入していった。家事に関しては、母親の仕事が多いことに気づいたが、父親も参画している家庭も多いことが分かった。その上で、自分が家族の一員として何ができるか、どんな手伝いをしていきたいか発表し、実践記録を書いていくことにした。 児童は実践の中で、「ありがとう。助かったよ。」と言ってもらえたことが嬉しかったと感想を述べており、男女の別なく、自分のできおることを家族の一員として行うことで、達成感や頼りにされていることへの喜びをもてる、と気づいた。 「できるようになったかな、家族の仕事」という単元で、上記の内容を見直しさらに充実させていきたい。
16	5 6	家庭	見つめてみよ う 家族の生活 工夫しよう 朝の生活	生活時間を見つめ直し、母親に仕事が多偏っていることや分担が多いことを知るとともに、自分ができるとはやろうとする気持ちを引き出したり、他の家族(父親も含め)が協力しようとするのが大切だと気づかせた。
17	5	家庭	できるよう になったかな 家族の仕事	家庭の仕事を出し合うことで、家庭には「衣食住・家族に関する仕事」等、様々な仕事があることを学習した。次にその仕事を、家屋のだれが分担しているかを確認し合うことで、家族によって行っている人が違うこと、母親の行っている仕事が多すぎることに、父親も仕事を分担したり、子どももちゃんと仕事の分担があったりする家庭もあることに、気づくことができた。 男女、大人、子どもに関係なく、家族の一員をしてできることを行い生活していくことにつなげ実践を呼びかけた。定期的にチャレンジ表を宿題として取り組ませ、男女関係なく、家庭の仕事を経験できるようにした。
18	5	家庭	できるよう になったかな 家族の仕事	家庭には、どんな仕事があるか、誰が主にその仕事をしているか表にまとめてみた。多くの家庭で母親の分担する仕事がたくさんあることに気づいた。 その中でも、父親も仕事を分担している家庭があったため、その様子を話してもらった。「女の人が家の仕事」でなく、家・外・色々な仕事を家族で分担する大切さに気づいた。 家族の一員として、自分が実践する仕事を決め、各家庭で実践することとした。
19	5 6	家庭	できるよう になったかな 家族の仕事	それぞれの家庭の仕事や役割分担を挙げた。それぞれの家庭で違った役割があり、男女関係なくできることをやって支え合うことに気づいた。 その後「ミシンを使っての小物作り」「ごはんのみそ汁づくり」の単元では、どの子も張り切って取り組んでいた。調理実習では、手際のいい男の子がいて、「料理ができる男子ってかっこいい」ともり上がった。「いつも家でやっている」と言うので、「自分が家族の一員としてできることを増やしていこう」とまとめることができた。

小学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
20	5	学活	男女仲良く	<p>男女の役割について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事(洗濯・保育園の送り迎え)を女性がやるのが当たり前と考える傾向があることに気づかせる。 ・「わたし作る人、ぼく食べる人」のCMが中止になった理由について考えよう。 ・男女が協力してやっていくためにどのように役割を果たせばいいか考えよう。
21	5	話	今日のニュース	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会で行っている「今日のニュース」コーナーで当番が「パキスタンで女性が教育を受ける権利を訴え、イスラム武装勢力に頭部を打たれたマララ・ユフスザイさんが肉声の生命を出せるほどに回復した」ことを取り上げた。 ・銃撃されてもなお「すべての少女、すべての子どもが教育を受けられるように尽くしたい」と決意を語るマララさんの姿と関連させ、担任は日本でも差別されていた時代があったことを伝えた。そして、「今、男女問わず教育を受ける権利が保障されていることに感謝しなければ。目的を持ち楽しんで学ばなければと思います」(鳥取の高校生の寄稿を記した朝日新聞天声人語)を紹介した。
22	6	国語	古典	<p>古典の学習内で、女性の地位に関係する場合は、助言をしてその時代背景に気づくように指導してきた</p>
23	6	社会	近代国家の歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の国民の生活についての学習の際、選挙権について考えた。男女差があることに気づき、これはどうすればなくなるかを考え合った。 ・国民の心がけが大切ということが意見として出された。 ・男女の差別と区別についても途中、言及することができた。
24	6	社会	二つの戦争と日本・アジア	<p>日清・日露戦争後の人権の慎重を目指して差別の撤廃や女性の地位向上・普通選挙の選挙権の実現を求める民衆運動が起こった。</p> <p>社会で大きな動きがあったのにそれでも女性の選挙権が認められなかったので、この時代の女性の地位は軽く見られていたことが分かる。</p> <p>なぜ、性差だけでこのような差別をつけられるのか。平塚らいてうの文章からこの時代の女性も必死で自分対の権利を向上させようという気持ちが大きかったことが分かる。</p>
25	6	社会	二つの戦争と日本・アジア	<p>19世紀後半から20世紀の初めにかけて、日本では産業の発展や暮らしの向上を背景に差別撤廃や女性の地位向上、普通選挙など民主主義が盛んになったことをとらえさせる授業を実施した。</p> <p>その中で、平塚らいてうが中心になって進めた女性の地位向上を目指す運動については、彼女が発表した文章(教科書に掲載)を手がかりに、当時の女性の立場を考えさせた。その際、前時で学習した製糸工場での女工たちの労働状況や自由民権運動のころの楠瀬喜多の主張を振り返り、当時の女性が置かれていた地位は、満足できるものではなかったことや、改善に力を注いでいた人たちがいたことをつかむことができた。</p>

小学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
26	6	社会	選挙権	<p>・歴史学習と12月16日に行われた衆議院の選挙を絡めて学習した。</p> <p>・現在の子ども達が当たり前のように思っている男女平等にも歴史があること、権利としてきちんと行使することの大切さを伝えらえたらと思った。</p> <p>大日本帝国憲法 1890(明治23) 25歳以上の男子 直接国税15円以上 1902(明治35) 25歳以上の男子 10円以上 1920(大正9) 25歳以上の男子 3円以上 1928(昭和3) 25歳以上の男子</p> <p>何度か選挙権の改正があったが、結局男子にしか参政権は認められなかった。 1945(昭和20) 20歳以上の男女 初めて女性の参政権が認められる。</p> <p>日本国憲法 男女平等</p> <p>現在児童があたりまえのように思っている「男女平等」もここからと知り、驚く子が多かった。</p> <p>1946(昭和21) 総選挙で39人の女性議員の誕生</p> <p>社会の学習を通して、子ども達は「現在に生まれてよかった。」と感じることが多かった。男女平等だけでなく、人権について考えることで、自分たちはたくさんの中から選ぶことができる幸せ、自分の考えを大切にしてもらえる幸せを感じ取っていた。</p> <p>1月からの社会「暮らしの中の政治」で労働者の権利について考えることにもつなげていきたい。また、英語で「What do you want to be?」で自分の将来の夢、つきたい職業について学習する中で、性別にとらわれない職業選択についてもふれたい。</p>
27	6	社会	政治・選挙権	<p>選挙の権利について大日本帝国憲法～日本国憲法 なぜ、女性は権利がないのか？について話し合う。その時代の女性の立場などを考えた。</p>
28	6	社会	平等な社会を目指して	<p>・男女の選挙参加率の変化についてグラフを見ながら話し合いをした。</p> <p>・選挙が始まったばかりの頃は、女性に選挙権がなかったことを知り、とても驚いていた。「不公平だ。」「おかしい。」などの意見が出た。</p> <p>・性別に関係なく、平等な権利がもてる社会を目指すことの大切さを感じることができた。</p>
29	6	家庭	はじめてみよう クッキング ソーイング わくわくミシン	<p>男女平等に家庭内の役割を分担し、協力して生活していくための技術であることを常に確認しながら授業をしている。男の子はミシンも料理も大好きです！</p>
30	6	家庭	考えよう これからの 生活	<p>・教科書の絵から気づいたことを見つけよう。 家の外・家の中 「いつながりと悪いつながりがある」 「いつながりをしている人々はどんな様子だろう」 「男性が家事をやることについてはどう思いますか。なぜ家庭科を男女でいっしょに習っているんだろう」</p> <p>・今の自分は、自分の家族とどのようにつながっているのだろう。 「未来の自分は、自分の家族とどうつながっていききたいかな」</p>
31	6	総合	夢に向かって	<p>キャリア教育の一環として、現代では看護婦→看護師、保育園の保母→保育士となり、男女の壁はないこと、政治家でも女性大臣や県知事が出ていることなど、いろいろな職業をインターネットで調べる中で、男女差がないことを実感した。</p>
32	6	総合	マイドリーム プラン	<p>自分の将来の夢(職業)について調べる際、男女関係なく職業が選べるということを話した。 Ex:「看護師」や「保育士」の名前が昔は「看護婦」や「保母さん」という名で「女性」をイメージするものだったが、そうでなくなった、という話をした。</p>

小学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
33	6	道徳	将来の夢	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さいころの自分」→「今の自分」→「将来の夢」について考え、ワークシートに書く。 ・グループで円を作り、右の子の良いところを言っていく。反対回りも。「今の自分」のところに友達から見た自分の良さも書き加える。 ・将来の夢に向けて、今やっていることがあるか問う。 ・イチローの小6の時の作文を読む。→イチローから学んだことを発表。 小6からの夢を持ち続けた 口で言うだけでなく、努力した 大げがをしてもあきらめなかった等 ・沢選手の記事を読む。(小学校では男子の中に女子1人で練習) →昔、サッカーは男の子のスポーツという意識だった。 ・今はどうだろう? →30種類の職業を挙げ、男の人の仕事か、女の人の仕事か考え、どの仕事も男女関係ないことに改めて気づいていた。男だから、女だからとか考えず、みんな平等に夢を持ち、努力することができることを確認した。
34	6	帰りの会	仕事と性	<p>先日の新聞記事に、女性の仕事だと思われていた(またはそういうイメージの強い)ネイルアーティストやエステティシャン、化粧品を扱う仕事等で、働く男性が増えているという事柄が掲載されていた。</p> <p>帰りの会で子どもが新聞記事についてスピーチをする時間があるので、その後の「先生の話」でその記事について内容を紹介した。</p>